

事業所名

こどもデイサービス あすむ

支援プログラム

作成日

令和7年

10月

30日

法人（事業所）理念		私たちは、障がいがある児童、障がいと疑われている児童に対して、「あそび」を通して社会性を学んでもらい、将来「地域」で生活が送れるように、より質の良いサービスの提供に努める					
支援方針		「あそび」を通しての集団療育を行い、子どもたちの「関わり」を積極的に助言、サポートしていき、人との「コミュニケーション」と「関り方」を伸ばしていく					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所到着後の「手洗い・うがい・検温」の常態化できるようにして、健康状態が自分で相手に伝えられるように取り組みます。 ・トイレトレーニングや着替える場所の理解・着脱行為の向上に取り組みます。 ・昼食購入の児童は「買い物訓練」をおこない、購入品を自分で選ぶ事、自分で購入できること少しずつできるように取り組みます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「あそぶ」ことにより体力を着実に向上させて、できる事が増えるように取り組みます。 ・「あそぶ」ことにより「手のひら・足の裏」の感覚の向上、「転倒しない」体づくりに取り組みます。 ・遊具等で「あそぶ」事により「つかむ・支える・滑る等」の感覚をつかんでもらえるように取り組みます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間の大まかなスケジュールは変えませんが、かなめでは大まかなスケジュールを言葉や時間（流れ）の感覚で認知していただき、本人たちがスケジュールの先が見えて、時間内で積極的な行動ができるように取り組みます。 ・「あそび」をとおして物の数量・形・大きさ・重さ・色の違い等の習得に取り組みます。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らすためには「自分の事が言える事」が重要と考えています。「あそび」を通して本人の得意な伝え方（言葉・単語言葉・表現）を職員が把握し検討・検証していきながらできるように取り組みます。また、伝え方だけではなく、「その人に行けば理解してくれる人」を見つける力をつけれるように取り組みます。 ・本人が「理解ができる伝え方」（言葉・単語言葉・表現）を職員が把握し検討・検証しながらお互いにコミュニケーションが出来るように取り組みます。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・「あそび」を通して、愛着行動・模倣行動の療育に取り組みます。 ・一人あそびから、集団遊びへの社会性の向上に取り組みます。 ・集団での自分の気持ちのコントロールと、自分の行動の特徴が理解できるように、職員がサポートして取り組みます。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内でのお悩みの相談に積極的に対応して共有し、アドバイスや事業所内での支援の追加をしていき、家庭の負担を軽減していく。 ・支援の延長も可能な限り対応する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・可能な児童は、かなめから地域や団体の小集団のサークルに、少しずつ移行できるように保護者の意向と共有しながら取り組みます
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談関係の担当者会議には積極的に参加し、情報収集・役割分担について協議をしていき、必要に応じて療育のポイントについて助言をいただきます 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所外の動画研修で定期的に研修して質の向上に取り組む。 ・他の事業所に見学研修を定期的に行い、かなめの質の確認・向上に取り組む
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・あすむのスケジュールを大幅に変えるイベントはありませんが、季節行事は積極的に取り組んでいきます。 ・年間行事：花見・七夕・海水浴・敬老会メッセージ作り・クリスマス会・節分・雛祭り ・定期行事：誕生日会 					